

まちづくり達成状況報告書（事務事業点検シート）

課等名：市民と共に考える課 シートNo：7 作成日：2024/6/7

① 総合計画上の位置付けと事務事業説明

後期 基本 計画	施策の大綱	I 市民参画の推進	背景・課題	目的・意図
	施策の目標	1 参画と協働の仕組みをつくり、活動の輪を広げる	外国人住民が市の人口の1割を超え、さらに多国籍化（49か国）しています。 この現状において、日本語の理解が十分でない外国人も多いためにコミュニケーション不足が原因となり、さまざまな課題が生じています。 また、日本語サポートの要望が多い中、指導者が少なく、外国人住民のニーズに応えられる体制ができていません。 今後、多言語での情報発信や、やさしい日本語の普及、多文化共生推進員の拡充が必要となります。	外国人住民に対する日本語教育を推進し、地域におけるコミュニケーションの活性化を促します。 日本人と外国人が交流できるイベントを実施し、文化の違いをお互いに理解し合い共生できる社会づくりを目指します。 外国人も地域を支える担い手として活躍できる環境づくりを促進します。
	施策	3都市間交流・多文化共生		
	施策内容	多文化共生の推進		
	その他、根拠法令 及び分野別計画	—		
事務事業名	多文化共生推進事業			

② インプット（投入）

主な予算科目	会計名	
	一般会計	
	款	総務費
	項	総務管理費
	目	市民協働費
	事業	多文化共生推進事業費

③ 主なアクティビティ（活動）とアウトプット（結果）

アクティビティ（活動）				アウトプット（結果）	
活動名	対象者	活動指標（回数・件数・日数等）		活動指標（参加者数・面積等）	
		R5年度実績値	R5年度目標値	R5年度実績値	R5年度目標値
やさしい日本語職員研修	市職員	3回	3回	延べ64人（参加者）	延べ75人（参加者）
日本語講座	外国人住民	16回	16回	延べ350人（参加者）	延べ116人（参加者）
国際交流団体との意見交換会	外国人住民	12回	12回	10人（参加者）	25人（参加者）
JOSOワールドフェスタ	市民	2回	1回	3,000人（参加者）	500人（参加者）
外国人のための無料相談会	外国人住民	1回	0回	20人（参加者）	10人（参加者）
多言語での情報発信	外国人住民	100回	80回	延べ500人（閲覧者）	延べ300人（閲覧者）

④ 初期・中間アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R5年度目標値
多文化共生推進員数	0人	20人
地区別意見交換会における外国人住民の参加者数	0人	20人

⑥ 点検

改善の余地							今後の方向性	
☐	コスト	☒	活動	☐	成果	☐	その他	今後は、日本のルールやマナーを伝えたり、お互いの文化や習慣の理解を深めるなど、日本人と外国人の橋渡し役を育成するための多文化共生推進員養成事業を強化していきます。 また、地域コミュニティの一員として地域活動に参加できる体制を構築し、災害時等でも相互に助け合える多文化共生のまちを目指していきます。
業務の振り返り								
道の駅でのJOSOワールドフェスタを実施しました。イベントの初期段階から準備委員会を立ち上げ、全員で協議して進め、企業、市民活動団体、市の連携が図れ、より多くの日本人と外国人の交流の場を創出することができました。また、職員を対象としたやさしい日本語研修を継続し、外国人への説明に使えるツールとして役立っています。さらに国際交流関係団体と意見交換会を始め、市のみで難しい課題について連携して解決に向けての取り組みができました。								

⑤ 最終アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R9年度目標値
多文化共生推進員数	0人	100人